

## まえがき

本書の姉妹編『最新 教職概論・生徒指導論—「教職実践演習」対応—〈第3版〉』（大学教育出版 2015年）でも「教職実践演習」に対応しているが、本書では教職科目「教職実践演習」の「科目の趣旨・ねらい」の4事項とそのまま対応する形で第1部の4章を設定している。ここに本書の特色の第1がある。

「①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項」の到達目標で話題にされている「教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする姿勢」や「高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志」「自己の職責」は教職科目「教職概論」で課題にされていることと重なる。姉妹編の第1部「教職概論」も参照していただきたい。

「②社会性や対人関係能力に関する事項」の到達目標で話題にされている「教員としての職責や義務の自覚」や「目的や状況に応じた適切な言動」も「教職概論」と重なりがあるが、「組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務を遂行することができる」や「保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる」等は教職科目のなかでも新しい項目である。「他の教職員との人間関係」や「保護者との関係」等は、子ども相手の業務ではない。何かを「教える」「指導する」という領域の内容ではないのである。そのような項目をも新しく「実践」として取り込んだことが「教職実践演習」の特徴ともいえる。したがって、この項目には多くのページを割り当てた。

「③幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項」は「子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行う」「子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、規律ある学級経営を行う」を到達目標としており、教職科目「生徒指導論」と重なる領域が多い。姉妹編の第2部「生徒指導論」も参照していただきたい。

「④教科・保育内容等の指導力に関する事項」は従来の各「教科教育法」の集大成ともいえる。到達目標にも例示がある「板書」等各教科の必要最低限の

事柄についての記述にとどめた。技術指導が中心の教科もあれば実技・表現活動に重きがおかれる教科もありそれぞれその教科の特性が異なるためである。

例えば、事項②の確認指標例「挨拶や服装、言葉遣い、他の教職員への対応、保護者に対する接し方」すなわち「社会人としての基本」や「他の教職員の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、自らの職務を遂行」、さらに「協調性や柔軟性」という項目は従来の「教材研究」等では扱わなかった。「保護者の意見・要望に耳を傾ける」という確認指標例は、大学生にとっては身近には感じにくいテーマであるだろう。想像力によって補う必要のあるこれらの領域は、本書の第2部において実践例を織り込みながら説明した。

「教職実践演習」の「2 授業内容例」や「4 授業方法等」で何度も強調されているロールプレイング（本書ではロールプレイと表記）について、第2部「教職実践演習の方策」として独立した部を構築して記述をしている点に本書の特色の第2がある。役割演技として書き言葉のロールレタリング（本書の中ではRLとも表記）の実践例をもまとめている類書は少ない。ロールプレイの「型」や場面設定の創作度について筆者なりの分類もしている。

姉妹編と同様に、本書でも「演習」を数多く設けた。また、養護実践交流会との共同執筆箇所も多く、いくつか「演習」の題材も提供していただいた。教職員組織のなかの特色ある存在としての養護教諭について類書に比べて詳細に説明している点は、本書の特色の第3である。

今回「教育実習指導」として第3部を加筆することによって、教職科目の集大成である「教職実践演習」と教育実習とを関連づけて有機的に理解できるように新版に至った。なお、第3部の演習については〈手がかり〉を提供し、解説は用意していない。

「実践」という共通の課題を中核に据えて今後も教員養成に資料を提供し続けたい。

2015年1月

著者

教職実践演習・教育実習指導  
— ロールプレイ・ロールレタリング対応 —

---

目 次

まえがき ..... 1

## 第1部 実践演習の内容

第1章 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 ..... 8

第1節 教育的愛情の歴史の変遷 9

第2節 教育的愛情のライフサイクルにおける変化 12

第3節 養護教諭の「使命感」 15

第2章 社会性や対人関係能力に関する事項 ..... 17

第1節 教員組織 18

第2節 養護教諭の特質 21

第3節 保護者との関係 30

第3章 幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項 ..... 40

第1節 家族における立場の理解 41

第2節 学級集団のなかの立場の理解 45

第3節 生と性の理解「いのちの教育」 50

第4章 教科・保育内容等の指導力に関する事項 ..... 57

第1節 黒板〈ノート〉の使い方と読み 58

第2節 生徒の指名の仕方等 61

## 第 2 部 実践演習の方策

第 1 章	ロールプレイの定義	68
第 1 節	ロールプレイの定義	68
第 2 節	教職志望者にとってのロールプレイの意義	69
第 3 節	ロールプレイの具体例	72
第 4 節	ロールプレイの課題	83
第 2 章	ロールレタリング（役割交換書簡法）	87
第 1 節	ロールプレイ（役割演技）との対比	87
第 2 節	教職志望者のロールレタリングの実践	88

## 第 3 部 教育実習指導

第 1 章	「介護等体験」指導	100
第 2 章	教育実習指導	103
第 1 節	学級での実習	103
第 2 節	校務分掌での実習	106
第 3 節	観察する場としての教育実習	108

演習解説..... 112

参考資料

中央教育審議会 今後の教員養成・免許制度の在り方について  
（答申）教職実践演習（仮称）について 118

あとがき — ロールプレイとロールレタリング — ..... 123